

ネコ市ネコ座@神戸2017

---



**NECO** REPUBLIC

株式会社ネコリパブリック

## 企画趣旨

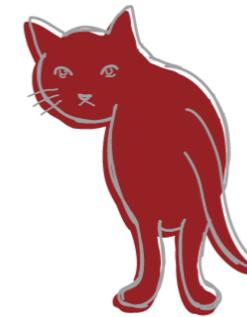
---

### □ネコリパブリックとは

地域の保護猫団体と協力して  
保護された猫の里親探しを行いながら  
猫とおしゃれで素敵なライフスタイルを提案し  
ビジネスとしても「自走」できることを目指す  
新しいスタイルの「自走型保護猫カフェ」です

### □ネコ市ネコ座とは

保護猫を知らない人・興味のない人  
猫が好きな人・嫌いな人が知るキッカケ作り  
入口は楽しいイベントから  
その中で啓蒙活動をする  
それがネコ市ネコ座です



ネコ市ネコ座  
neko-ichi neko-za



## 目的

---

### □ネコリパブリックの目標

2022年2月22日までに日本の行政による猫の殺処分をゼロに

そして

全ての猫に安心して眠れる幸せとお腹いっぱいになれる幸せを与えたい

### □ネコ市ネコ座の目的

イベントを通じてたくさんの人たちに保護猫のことを知ってもらうこと

そしてこのイベントの収益を保護猫のためのシェルター整備、および保護猫カフェ運営費

保護猫カフェの開店のための資金にあてることを目的とします。

## イベントメッセージ

---

小さな命を大切にできる国は、豊かな国です  
ただ生きるためにだけに必死で生きている小さな命の灯火を  
ニンゲンの勝手な都合で消すことは決してあってはならないことです  
ネコブームといわれる昨今、ネコリパブリックが掲げる  
全ての猫に関わる経済活動の利益が、猫助けにつなげていく  
「ハッピーネコサイクル」を実現することで  
多くの小さな命を救えると考えています  
楽しみながら猫助け  
猫に興味がない人も、猫が嫌いな人までも巻き込んで  
社会を変え、小さな命を、誰もが大切にできる社会へ。  
それがネコリパブリックが目指す未来です。

代表取締役 首相 河瀬 麻花



## 会場

### □日時

2017年12月16日（土） 11:00-18:00

2017年12月17日（日） 11:00-17:00

### □会場

デザイン・クリエイティブセンター神戸

kiitoホール / ギャラリーA / 2階フェリシモギャラリー

〒651-0082

兵庫県神戸市中央区小野浜町1-4

tel:078-325-2201 / fax:078-325-2230

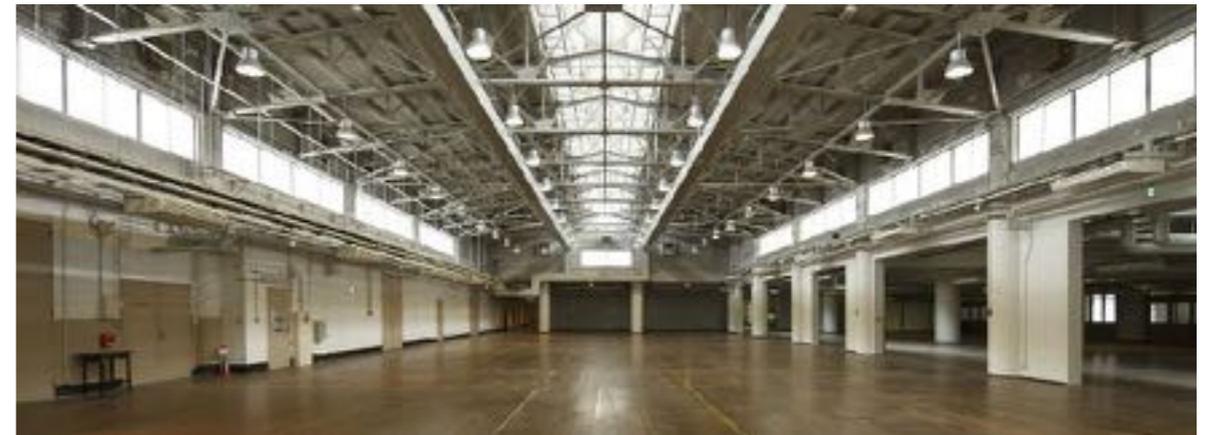
### □主催

株式会社ネコリパブリック

株式会社フェリシモ フェリシモ猫部

### □協賛

ネスレ日本株式会社 ネスレ ピュリナ ペットケア



**KII+O:**  
DESIGN AND CREATIVE CENTER KOBE



※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

## 展開予定

---

### □ネコ市

ネコ市は猫商店街  
たくさんの猫雑貨の手作り作家さんや  
猫グッズショップ、猫雑貨のメーカー  
猫おもちゃなどのお店が一同に集まって  
猫まみれになるのがネコ市です



### □ネコ座

ネコ座はステージ上で猫に関わる様々なイベントや  
パフォーマンスを繰り広げる場  
猫映画・セミナー・トークショーなどなど  
猫まみれのイベントがネコ座です



## 展開予定（ネコ市）

---

□ネコリパブリック&フェリシモブース

□猫雑貨作家ブース

□フリーマーケットブース

□チャリティバザー



## 展開予定（ネコ座）

---

- 保護猫セミナー
- 猫猫写真展
- ネコ・ワークショップ
- 子供のための保護猫講座「猫塾」



- 定期情報紙「ネコリペーパーvol.14」を同時発行

## ネコ市ステージ

□むぎ(猫)による、保護猫のためのライブイベント  
12月16日、17日2日間

### プロフィール

(読み:むぎかっこねこ)

1997年7月東京生まれ。2002年沖縄に移り住み、2009年1月に永眠。  
5年間の天国暮らしの後、2014年3月にゆうさくちゃん(カイヌシ)  
による手作りの新しい身体を手に入れ、再びこの世に舞い戻った。

「天国帰りのネコ」として新しいニャン生(人生)を満喫し、ニンゲンの  
皆さんたちを楽しませるために歌い、踊り、楽器(主に木琴)を  
演奏する。

沖縄県外での音楽活動も増え、2016年には京都、長野、東京など  
でライブやフェスへの出演を行った。

2017年には猫界初となるFUJI ROCK FESTIVALへの出演を果たす。

沖縄県内、県外各地でのライブで徐々にファンを増やす中で、  
共演や対バンをした坂田明、DRAMATICS(勝井祐二、ササキヒデアキ)、  
七尾旅人など著名アーティストからも高い評価を得ている。

本ニャン(本人)自慢の決めポーズは「あっちょ☆」である。

○むぎ(猫)公式サイト [www.mugithecat.com](http://www.mugithecat.com)



## ネコ市ステージ

---

□杉本彩さんと共に考える  
ネコ助けトークセッション

### 出演予定

公益財団法人EVA理事長 杉本彩  
ネコリパブリック首相 河瀬麻花  
フェリシモ猫部 部長 松本竜平  
ネスレ日本 ピュリナペットケア  
神戸市



## ネコ市ステージ

---

### □ご当地ねこキャラ 猫助けサミット

日本全国の猫のゆるキャラが、猫助けのために大集合！

ゆるキャラサミットを開きます。

ステージパフォーマンス

撮影会

グッズ販売

公開型 猫ゆるキャラによる

猫助けミーティング

### □保護猫チャリティー・クリスマスパーティー

テーマ：クリスマスには保護猫に家族を・・・

保護猫達に家族をプレゼントする

キャンペーンスタート



# 震災で消えた小さな命展

## Precious Little Lives Lost in the Earthquake

### その他

---

#### □震災で消えた小さな命展を開催

「震災で消えた小さな命展」には、二つの目的があります。

一つは、申し込まれた被災者の方に絵をプレゼントすることで、亡くなった動物の心と、残された人間の心をつなぎたいという目的です。

飼い主さんは、自分だけが助かってしまったと責めている方が、たくさんいらっしゃいます。泥水の中から見つけ出した亡くなった動物の姿が目には焼きついてしまい、元気な頃の動物たちの姿を思い出すことが出来ない方も、たくさんいらっしゃいます。大好きな飼い主さんが、自分がいなくなってしまうことで苦しんでいたら、亡くなった動物たちはとても心配になっていることと思います。

私たちが描く絵で、その二つの心をつなぐことができれば...と思っています。

そしてもう一つ。

『動物も人間と同じ命、大切な家族だ』ということ伝えたいという目的があります。

被災地で亡くなった動物たちの中には、彼らがもしも人間だったら、確実に助かっていた命もたくさんありました。

アイデアひとつで、救えた命がたくさんありました。

申し込みをして下さった方たちから、「動物も大切な家族なんだということを、多くの人に伝えてください。」

「亡くなった動物たちの命や私たちの悲しみが、これから先繰り返されないでほしい。」と、被災地で私は託されました。

避難所によって、判断する人間によって、目の前にいる動物たちの運命が決められてしまいます。

例えば、人間は安全な高所へ避難していいけれど、動物は危険な低地でつないでおくようになどといったおかしい規則を、考え直してもらえたら、と思うのです。目の前の動物の運命を決める立場になった方が、その小さな命の行き先を判断する時、「震災で消えた小さな命展」を思い起こしてくれることを願います。

これから先、いつ、どこで、同様な災害が起きるかわかりません。被災地以外の各地で巡回するのは、このような理由があります。

「震災で消えた小さな命展」は、このような思いを込めて進めています。ご理解いただけたら嬉しいです。



「震災で消えた小さな命展」代表 うさ



## 実績

---

### □これまでに開催したイベントの実績

2014年 9月	大垣元気ハツラツ市ネコ市ネコ座 (動員数約 45,000 人)
2014年 9月	Internet Cat Video Festival (動員数約 3,000 人)
2015年 3月	京都さくら猫祭り (動員数約 6,500 人)
2016年 1月	第 2 回 Internet Cat Video Festival (動員数約 500 人)
2016年 3月	ネコ市ネコ座神戸 (動員数約 3,000 人)
2016年11月	ネコ市ネコ座 with プュリナ (動員数約 600 人)
2017年 5月	ネコ市ネコ座 with プュリナ@シマホ (店舗集客数推定 25,000人)

